

太陽電池モジュール 施工マニュアル

販売店・工事店様用

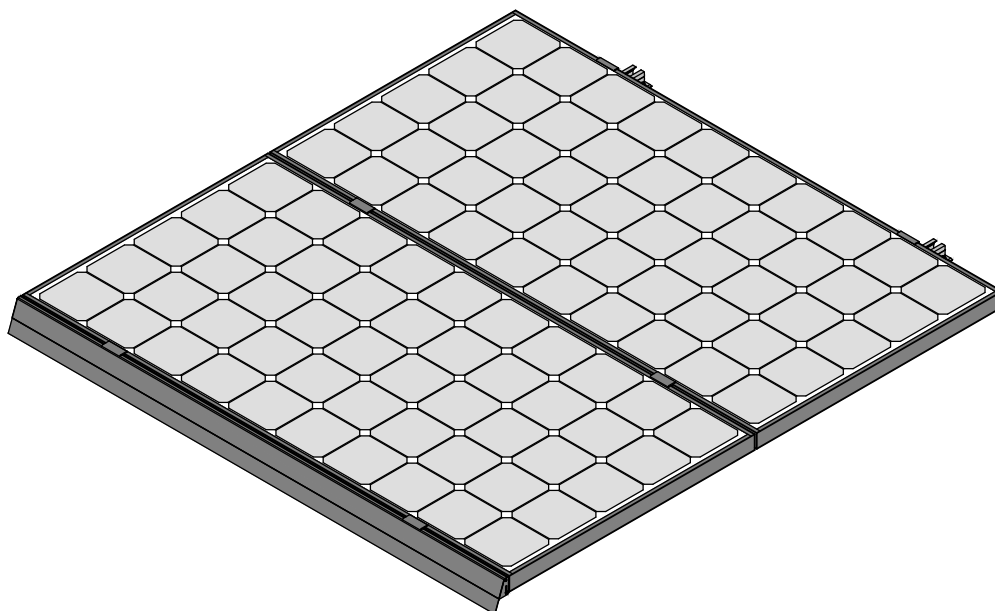
もくじ

1. 架台 p1
2. 太陽電池モジュールの据付け p4

◆ 仕様 ◆

太陽電池モジュール	ツメ無し 横置
架台化粧	ブラック
T金具	

スレート金具4対応



設置工事をされる方へお願い

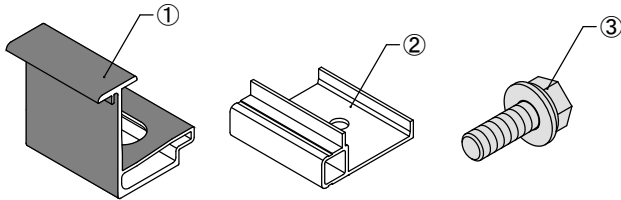
- 据付け工事を始める前に施工マニュアルをよく読み、正しく安全に据付けてください。
- 据付け強度を確保するため、施工マニュアルの据付け方法を守ってください。
- 据付け工事は販売店・工事店さまが実施してください。（第2種電気工事士の資格必要）
 - 据付け工事は高所（2m以上）作業で転落の恐れがあります。また、感電のおそれもあるため、「労働安全衛生規則」に従って施工してください。
- 太陽電池モジュール・パワーコンディショナー・接続箱は、他社製品と組合わせての据付けは行わないでください。
- 取付け部材は、必ず付属品を使用してください。
- 太陽電池モジュール1枚、同一系統の+・-コネクタをループさせないでください。
- 建築強度については考慮されていないため、販売店様、施工店様にてご確認ください。

1. 架台

1) 架台部材

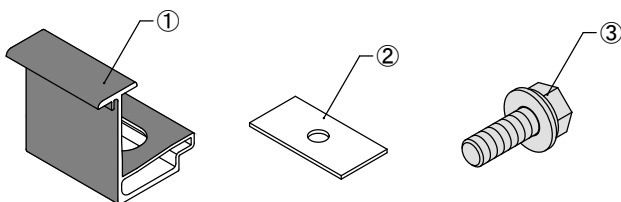
① 軒用カバー有セット

	品名	数量
①	固定金具h-** L-60 (ブラック)	1
②	受け金具	1
③	M8-25セムスポルト	1



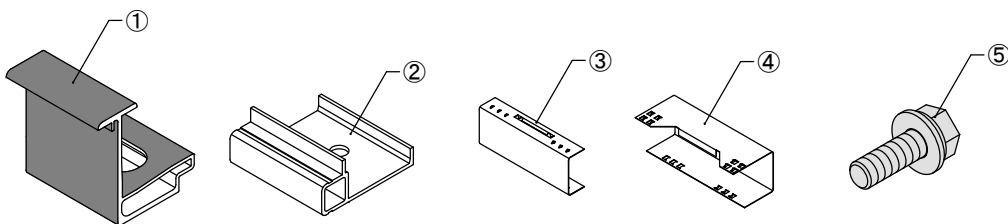
② 軒用カバー無セット

	品名	数量
①	固定金具h-** L-60 (ブラック)	1
②	YGCLスペーサーH2	1
③	M8-25セムスポルト	1



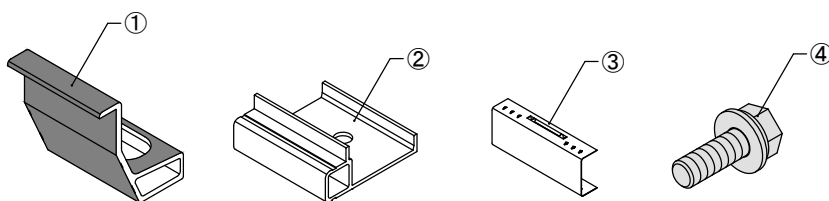
③ 中間用セット

	品名	数量
①	固定金具h-** L-60 (ブラック)	1
②	受け金具	1
③	アース金具 I	1
④	アース金具 II	1
⑤	M8-25セムスポルト	1



④ 棟用セット

	品名	数量
①	棟固定金具h-** L-60	1
②	受け金具	1
③	アース金具 I	1
④	M8-25セムスポルト	1



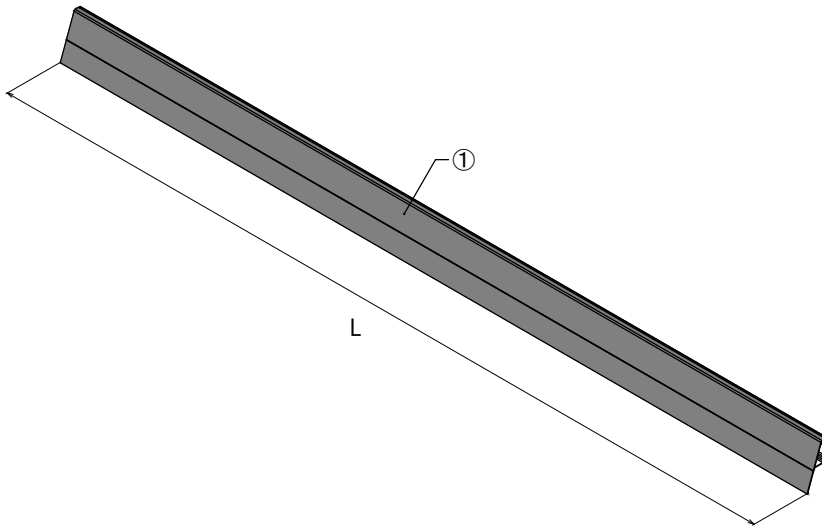
※拾い出しの関係上、据付けに必要な無い部材が含まれている場合がございます。

※固定部材の色はブラック色となります。

※固定金具の大きさは、太陽電池モジュールの厚さによって異なります。

⑤ 軒カバーS L-****

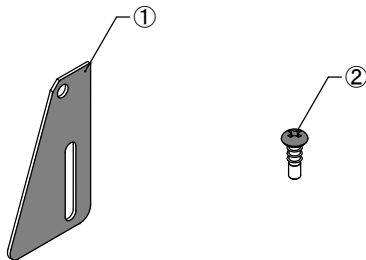
品名	数量
① 軒カバーS L-****	1



⑥ 軒カバー用端面キャップセット

※物件・仕様によっては納入されない場合があります。

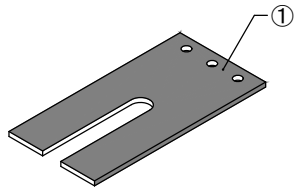
品名	数量
① 軒端面キャップ	2
② ステンBPナベ4-12	4



2) オプション部材

①不陸スペーサー 25枚入り

	品名	数量
①	不陸スペーサー L-80	25



2. 太陽電池モジュールの据付け

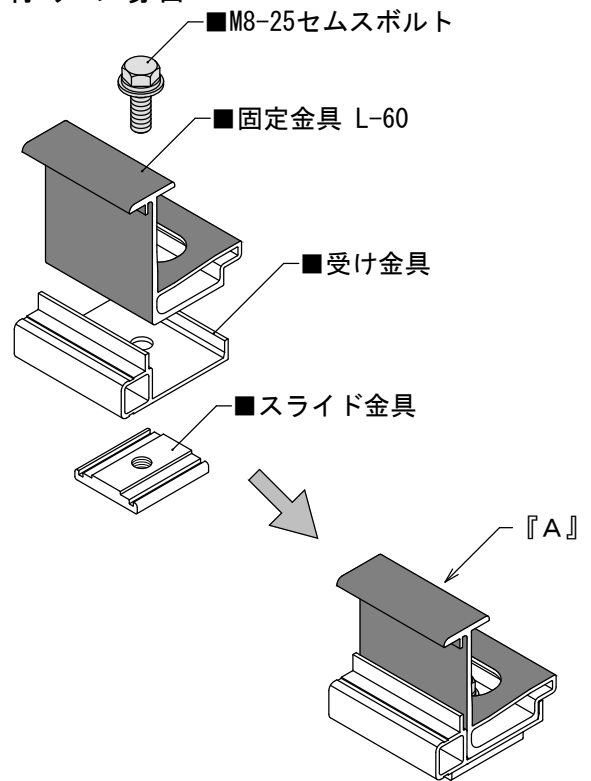
軒カバー有り

1) 軒側の固定金具の組立て・軒カバー有りの場合

- ① スライド金具に固定金具 L-60と受け金具をM8-25セムスポルトで仮固定し、『A』を作ります。

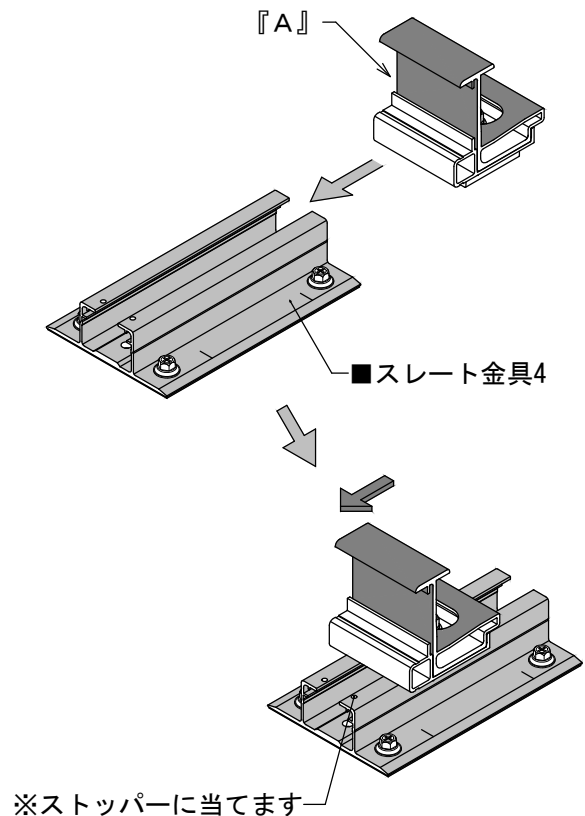
お願い

後工程のために、ゆるめに手締めしてください。

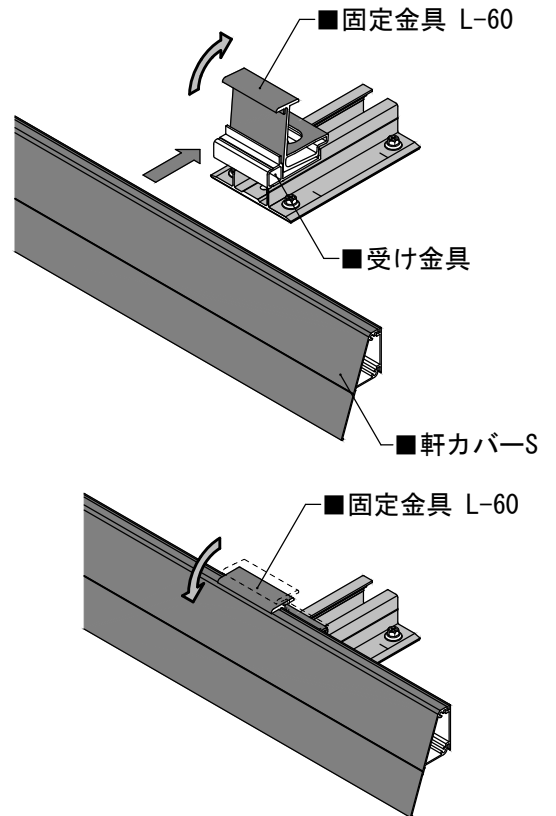
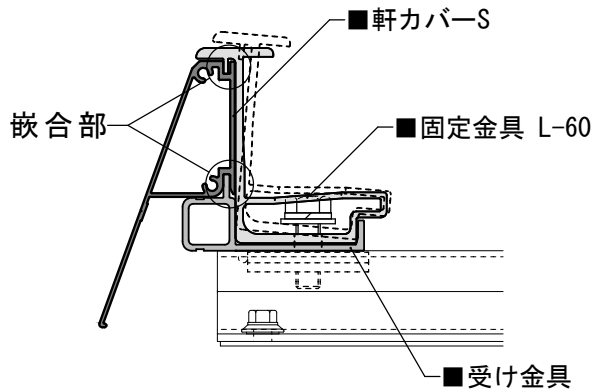


2) 軒カバーSの取付け

- ① スレート金具4の棟側より『A』を差込み、スレート金具4のストッパーにスライド金具を当てます。



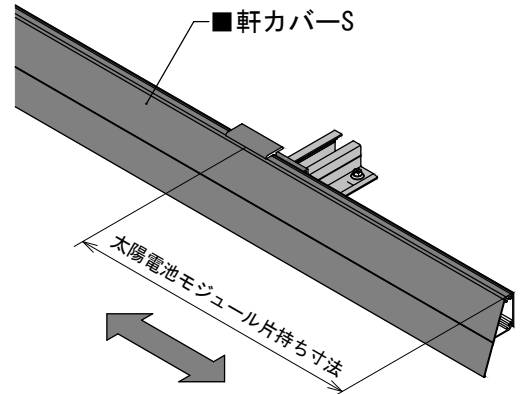
- ② 固定金具 L-60を持ち上げ、軒カバーSを受け金具と固定金具 L-60の間に入れます。
この時、受け金具の突起に軒カバーS下部の溝を嵌合させ、固定金具 L-60の突起を軒カバーS上部の溝に嵌合させます。



！ 注意

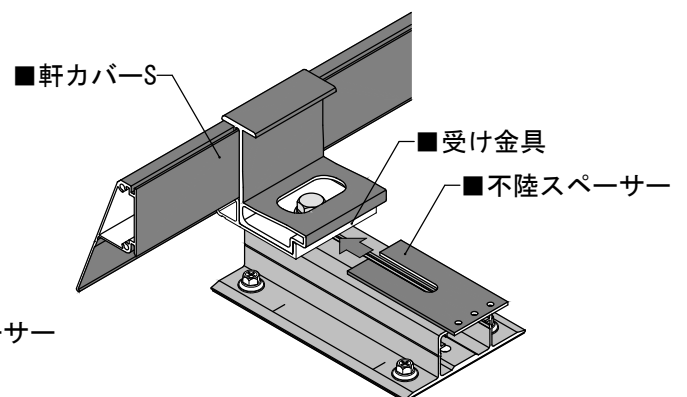
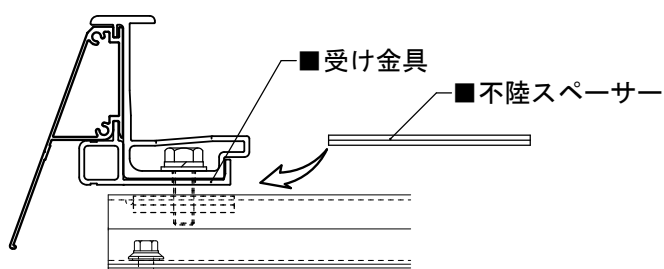
軒カバーSと固定金具L-60、受け金具の溝を確実に嵌合させてください。

- ③ 軒カバーSを基準に太陽電池モジュールを配置するため、軒カバーSの片持ち寸法を太陽電池モジュールの片持ち寸法と同じになるように調整してください。
- ④ 軒の出にバラツキがある場合は、軒の出の調整も行ってください。

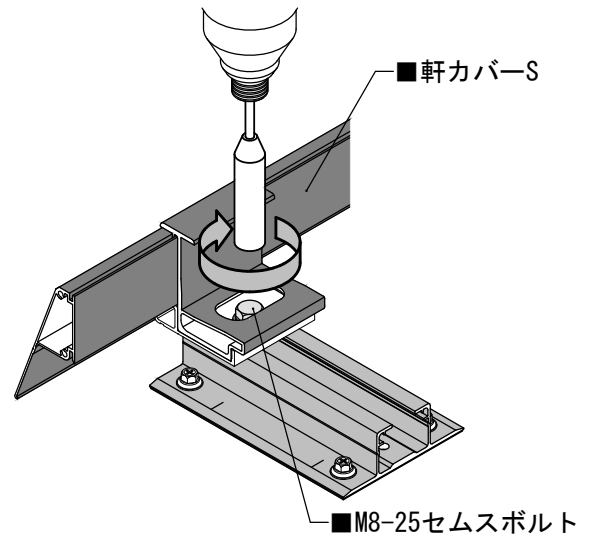
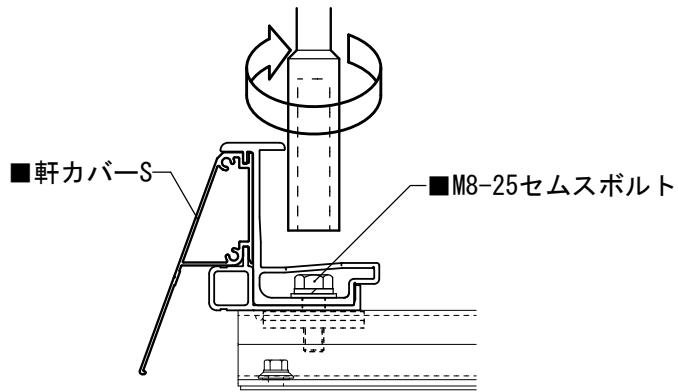


また、隣り合う軒カバーSの高さが合わない場合、受け金具の下に不陸スペーサーを入れて、不陸の調整も行ってください。

- ※不陸スペーサーは、最大3枚まで追加することができます。



- ⑤ 軒カバーSが動かないように、M8-25セムスボルトを本締めします。
(締付けトルク4N・mで締付けた後、トルクレンチで6N・m±0.5まで締めます。)

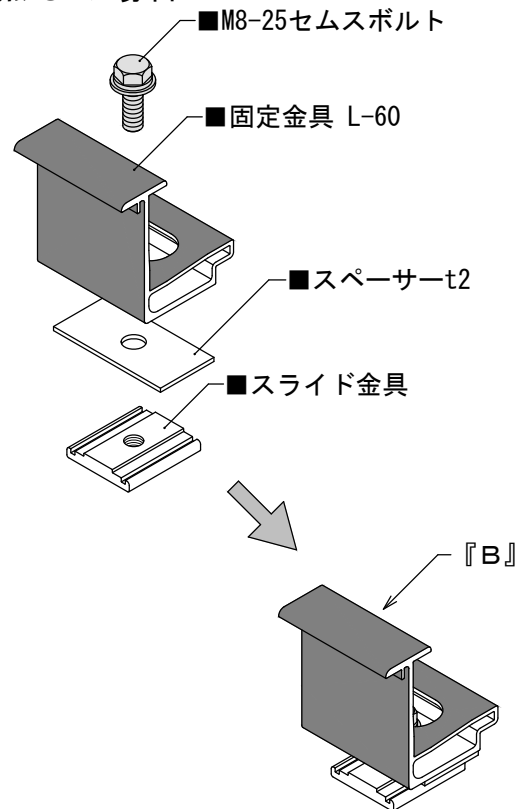


3) 軒側の固定金具の組立て・軒カバー無しの場合

- ①スライド金具に固定金具 L-60と
スペーサーt2をM8-25セムスボルト
で仮固定し、『B』を作ります。

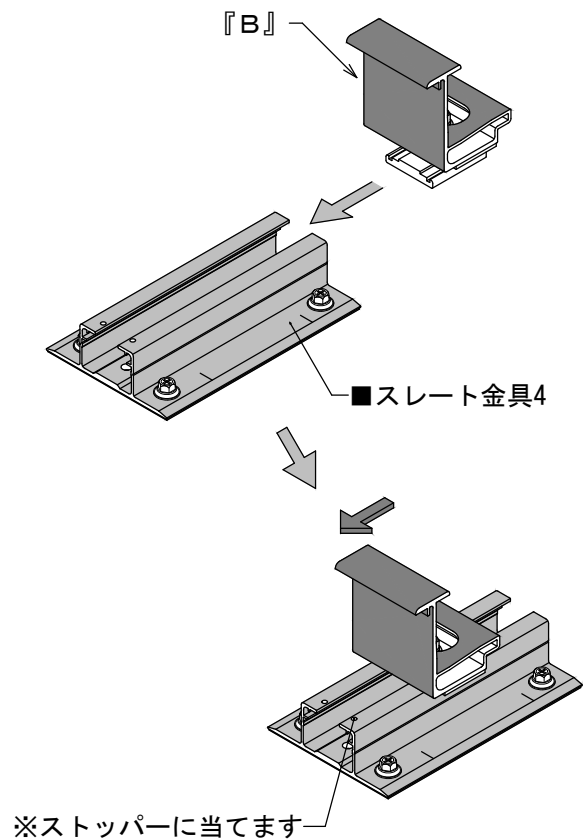
お願い

後工程のために、ゆるめに手締めしてください。

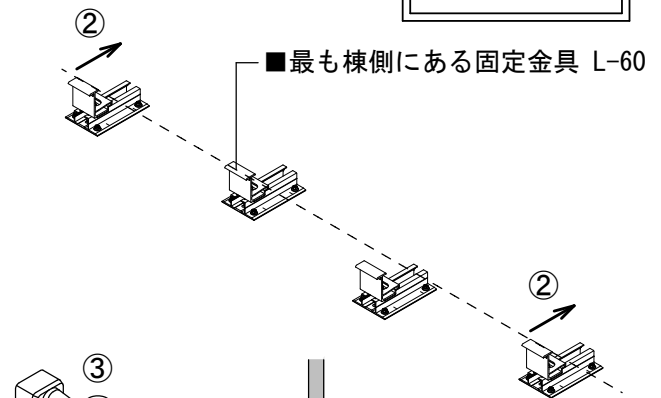


4) 軒側の固定

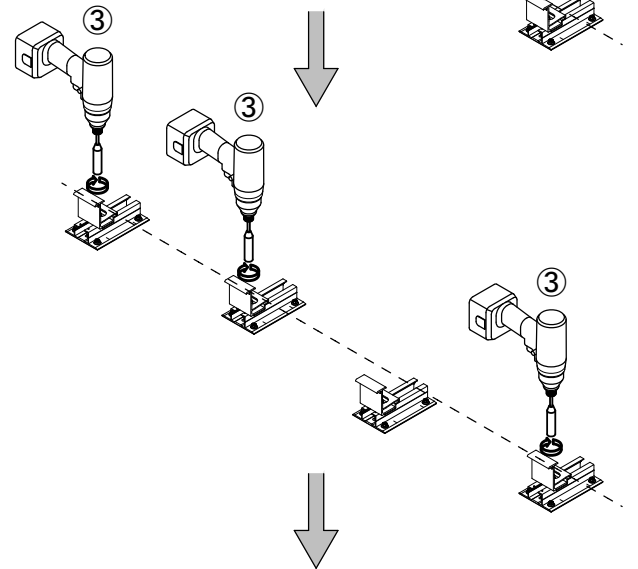
- ①スレート金具4の棟側より『B』
を差込み、スレート金具4のスト
ッパーにスライド金具を当てます。



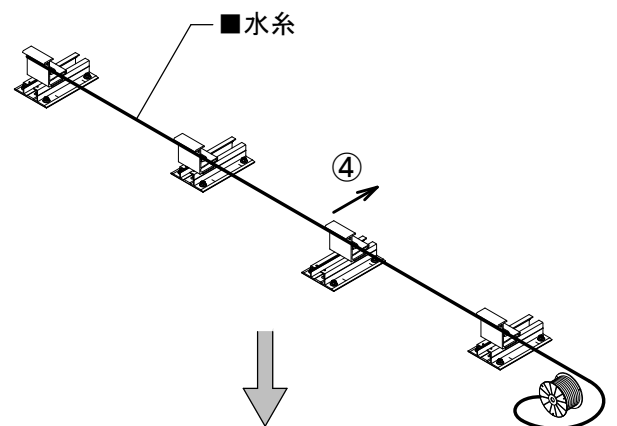
- ② 外側両端の固定金具L-60を最も棟側にある固定金具L-60に合わせ、軒側と平行に揃えます。
この時、固定金具L-60の位置調整は5mm以下としてください。



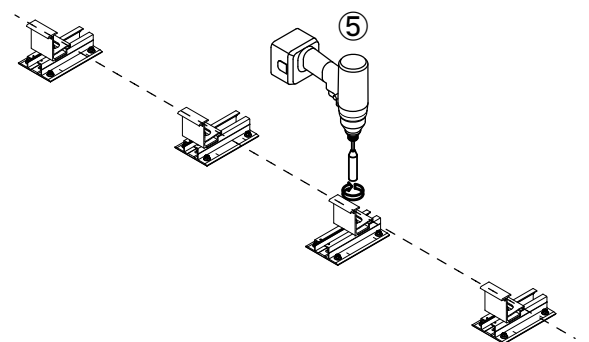
- ③ 位置が決まったら、外側両端と基準にした最も棟側にある固定金具L-60のM8-25セムスボルトを締めます。



- ④ 両端の固定金具L-60に水系を張り、残りの固定金具L-60を水系に合わせます。



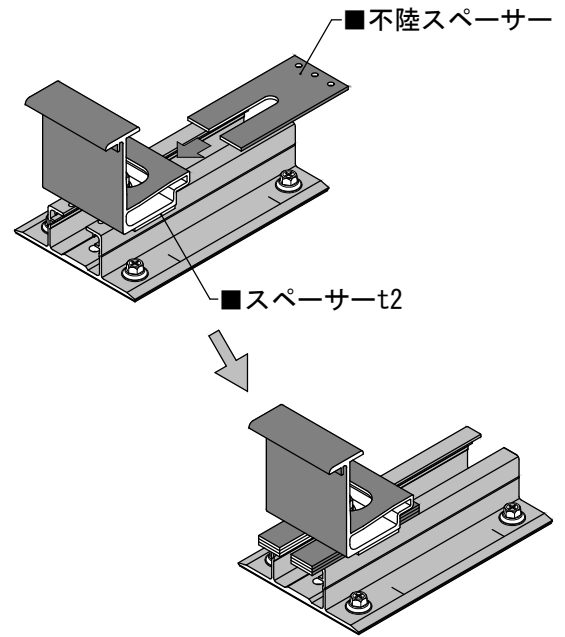
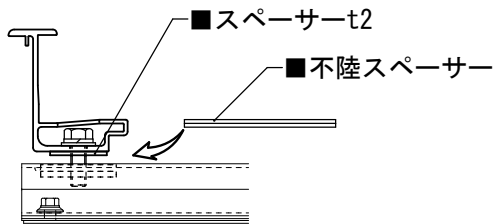
- ⑤ 固定金具L-60の位置を揃えたら、固定金具L-60が動かないようにM8-25セムスボルトを締めます。



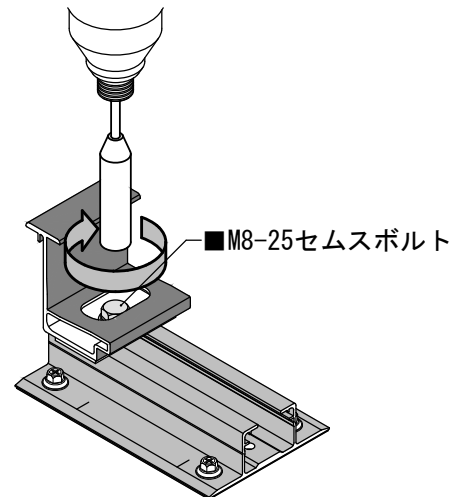
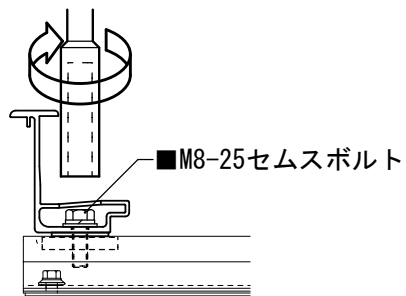
- ⑥ 不陸の調整が必要ない場合、全てのM8-25セムスボルトを本締めします。
(締め付けトルク4N・mで締め付けた後、トルクレンチで6N・m±0.5まで締めます。)

- ⑦ 必要に応じ、M8-25セムスボルトを緩め、スペーサーt2の下に不陸スペーサーを入れ、不陸の調整をします。

※不陸スペーサーは、最大3枚まで追加することができます。



- ⑧ 不陸の調整後、本締めします。
(締め付けトルク4N・mで締め付けた後、トルクレンチで6N・m±0.5まで締めます。)



5) 太陽電池モジュールの固定(中間部)

- ① スライド金具に固定金具 L-60と
受け金具をM8-25セムスポルトで
仮固定します。

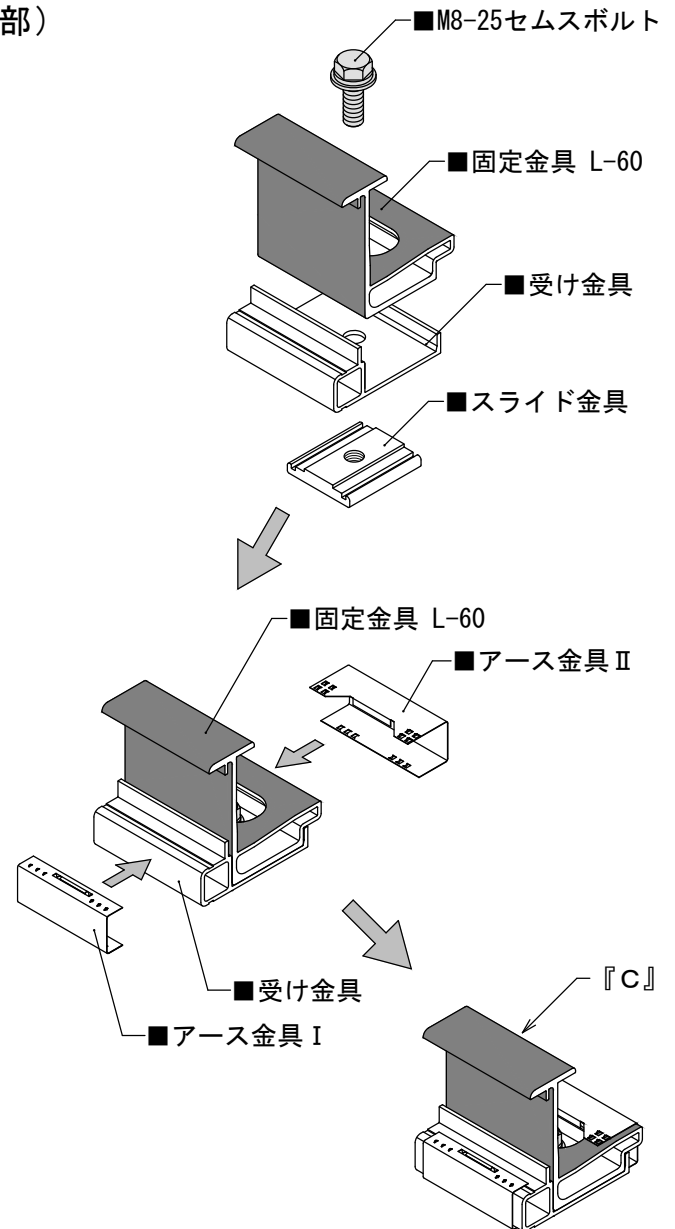
お願い

後工程のために、ゆるめに手締めしてください。

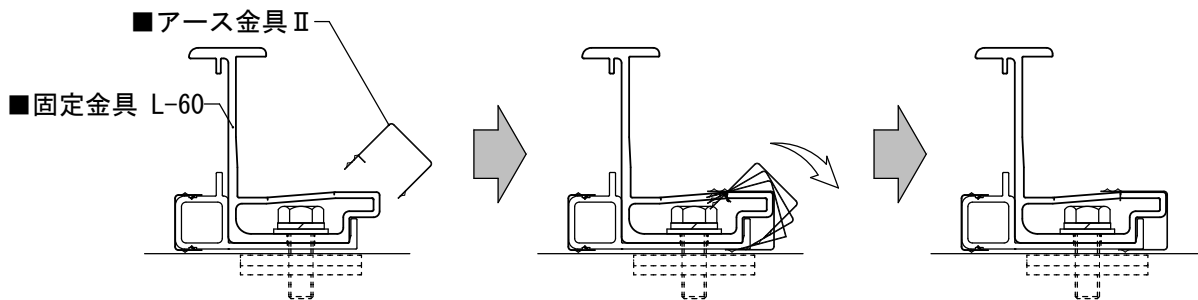
- ② 受け金具の軒側にアース金具 I を
はめ込み、固定金具 L-60の棟側
にアース金具 II をはめ込み『C』
を作ります。

！ 注意

棟側に使用するアース金具 II は、爪が
8ヶ所 あいている面が上になります。

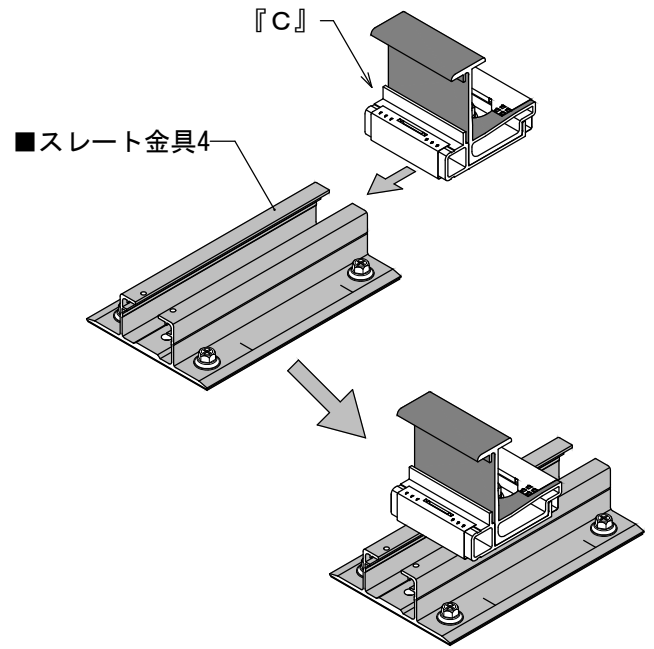


POINT



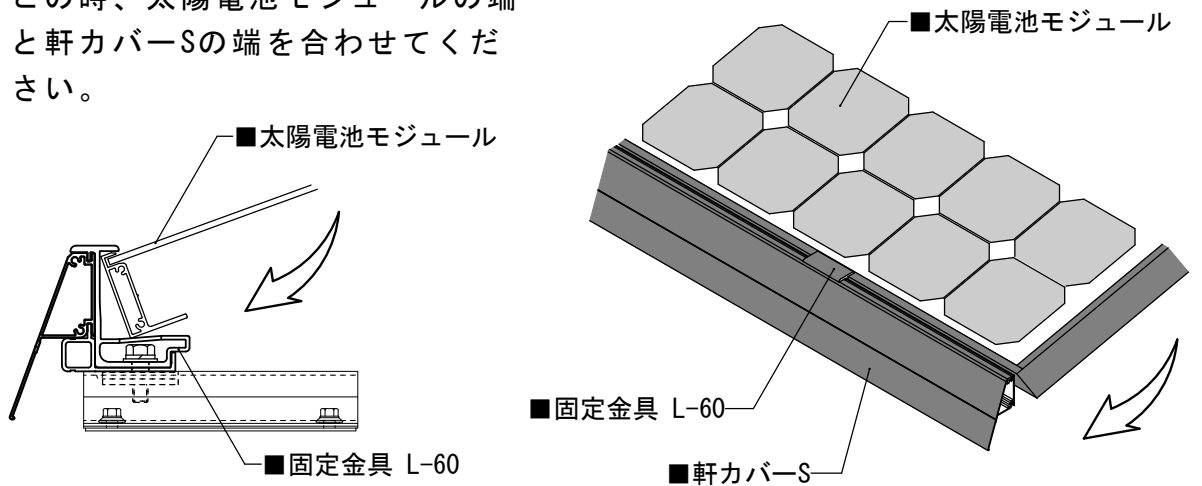
アース金具 II の内側曲げ部分を固定金具 L-60の長穴に引っ掛け、アース金具 II をはめ込んでください。

- ③ 『C』 をスレート金具4の棟側よ
差込みます。



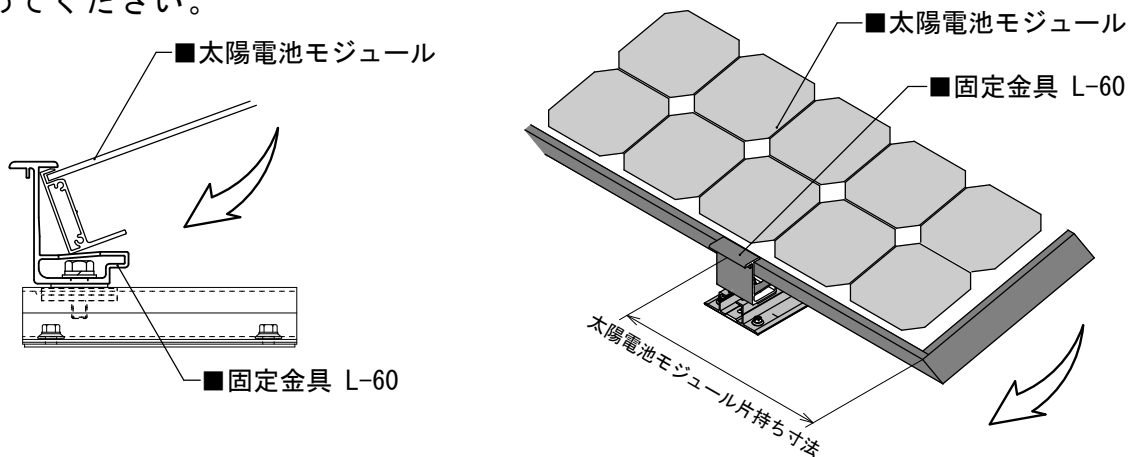
- ④ 太陽電池モジュールを軒側の固定
金具 L-60に入れ込みます。
この時、太陽電池モジュールの端
と軒カバーSの端を合わせてくだ
さい。

軒カバー有り

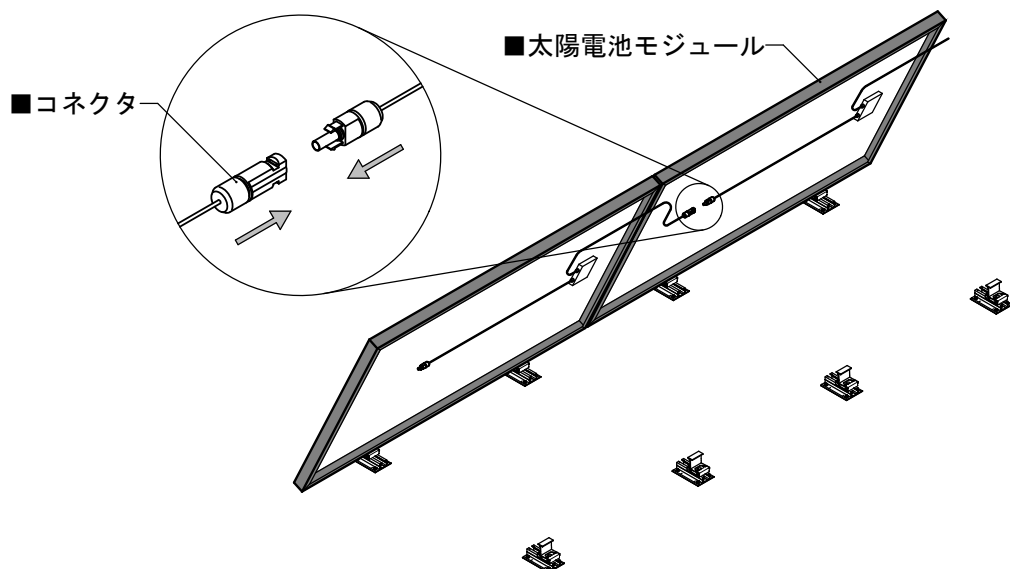


- 軒カバーが無い場合は、太陽電池
モジュールの規定の片持ち寸法に
納めてください。

軒カバー無し



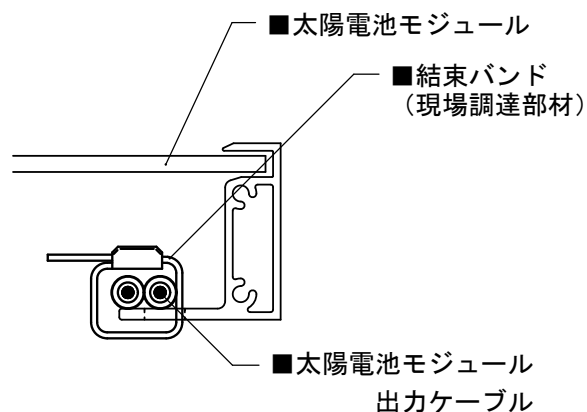
⑤ 太陽電池モジュール同士のコネクタを接続します。



！ 注 意

- ・ 太陽電池モジュール同士のコネクタ接続が確実に行われていることを必ず確認してください。
- ・ 太陽電池モジュールと架台の間にケーブル、コネクタを挟まないでください。(コネクタに衝撃や荷重を加えると火災、感電の原因になります。)

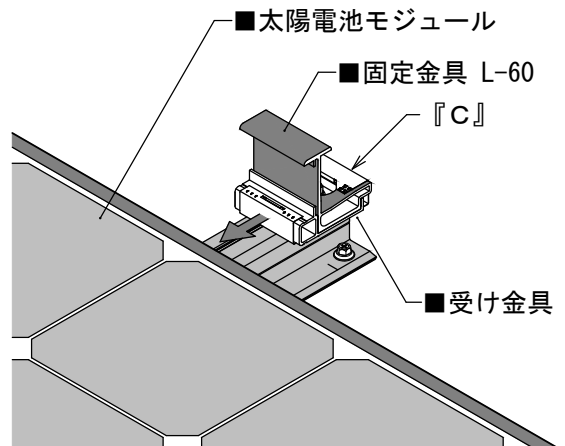
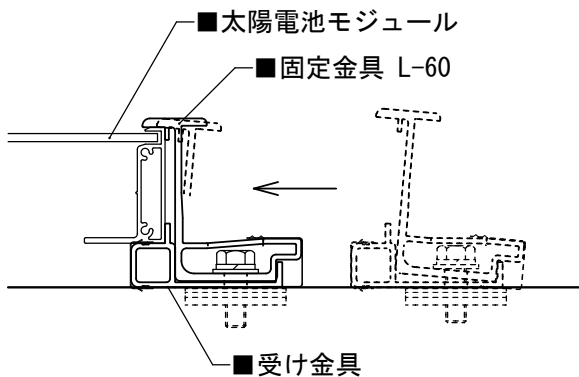
⑥ 太陽電池出力ケーブルは、モジュールの裏穴などにケーブルをあて、結束バンドを使い留付けます。この際、結束バンドでケーブルを傷付けないよう注意してください。



お願い

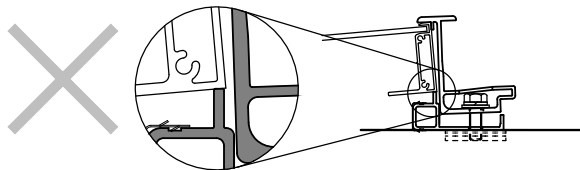
ケーブルが弛んで屋根材に触れることのないようにしてください。

- ⑦『C』をスライドさせ、受け金具の上に太陽電池モジュールを配置し、固定金具L-60で押さえます。



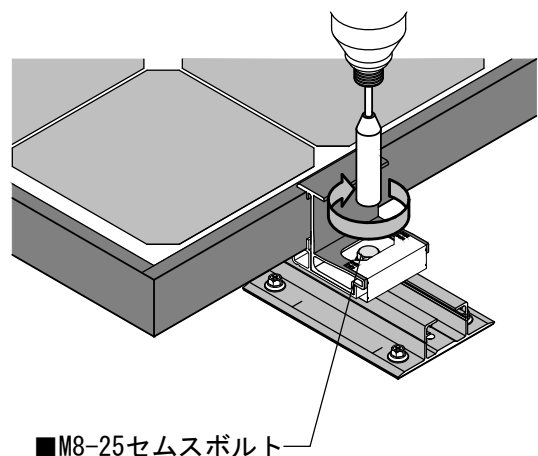
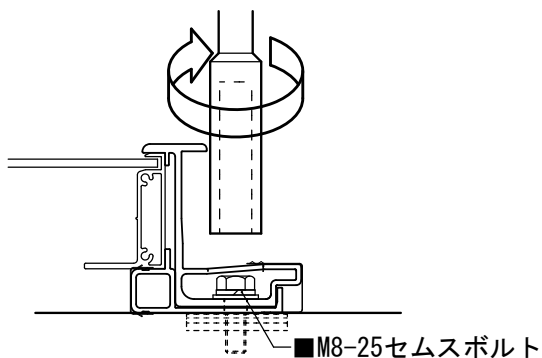
！ 注意

受け金具の突起に太陽電池モジュールが載らないようにしてください。



- ⑧不陸がある場合、4) ⑦に従って不陸を調整してください。

- ⑨M8-25セムスポルトを本締めします。
(締付けトルク4N・mで締付けた後、トルクレンチで6N・m±0.5まで締めます。)



- ⑩ ④～⑨の手順で2段目以降の太陽電池モジュールを据付けます。

6) 太陽電池モジュールの固定(棟側)

- ① スライド金具に棟固定金具 L-60
と受け金具をM8-25セムスポルト
で仮固定します。

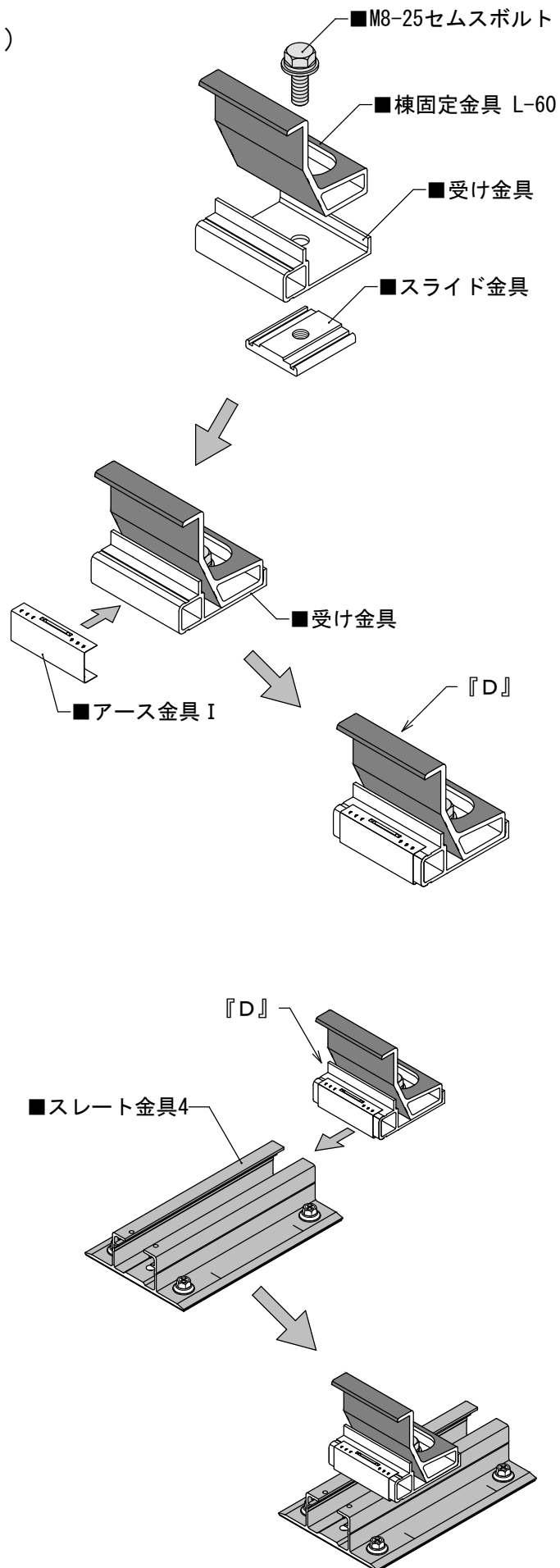
お願い

後工程のために、ゆるめに手締めしてください。

- ② 受け金具の軒側にアース金具 I を
はめ込み『D』を作ります。

！ 注意

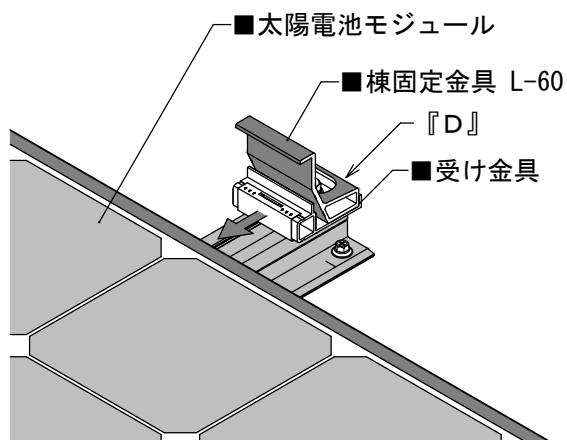
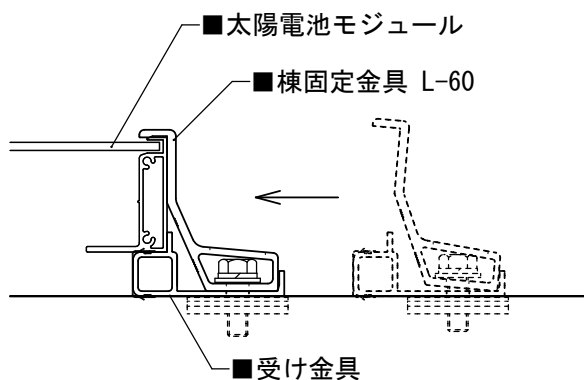
アース金具 II は使用しません。



- ③ 『D』をスレート金具4の棟側より
差込みます。

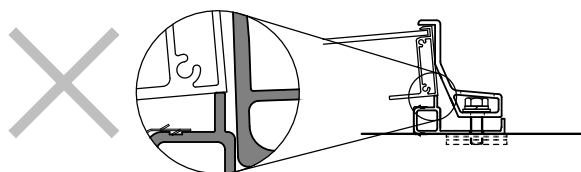
④5) ④～⑥の手順で太陽電池モジュールを据付けます。

⑤『D』をスライドさせ、受け金具の上に太陽電池モジュールを配置し、棟固定金具L-60で押さえます。



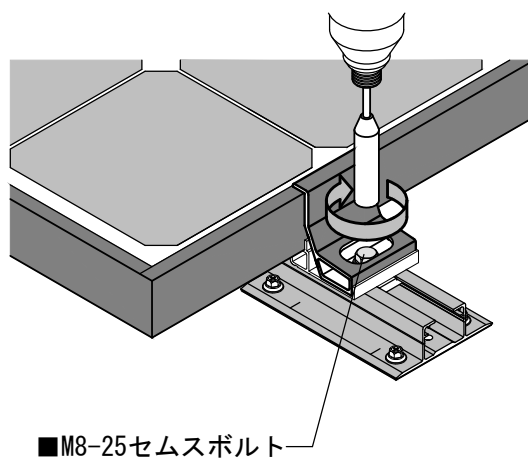
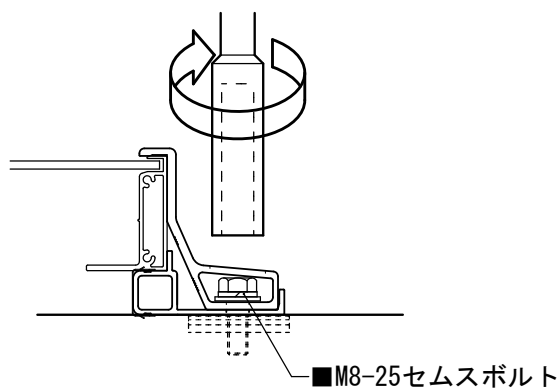
！ 注意

受け金具の突起に太陽電池モジュールが載らないようにしてください。



⑥不陸がある場合、4) ⑦に従って不陸を調整してください。

⑦M8-25セムスポルトを本締めします。
(締付けトルク4N・mで締付けた後、トルクレンチで6N・m±0.5まで締めます。)



7) 架台アース

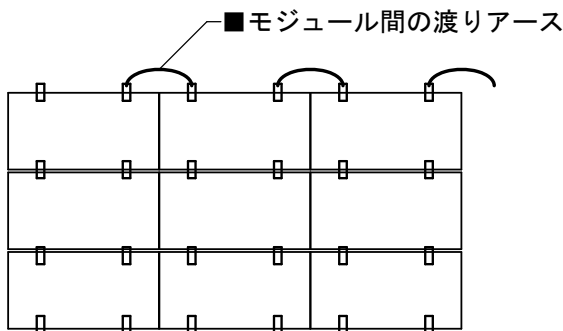
① 太陽電池モジュール架台より接続箱、地面へアース接続します。

(i) 圧着端子（現場調達部材）をアース線（現場調達部材）に圧着ペンチにて取り付けます。

(ii) アース線の圧着端子をドリルビス（現場調達部材）でスレート金具4に打ち込み横方向のモジュール間の渡りアースを取ります。不陸スペーサーを使用した場合は、不陸スペーサーの穴に打ち込みます。

(iii) 地上接地用のアース線（現場調達部材）をスレート金具4に取り付けます。

(ii) 同様、不陸スペーサーを仕様した場合は、不陸スペーサーの穴に打ち込みます。

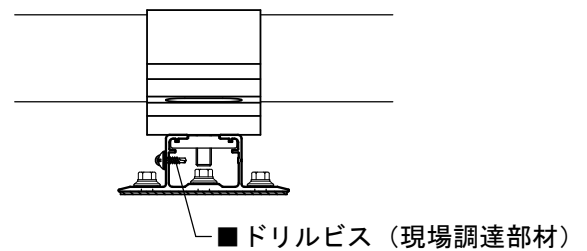
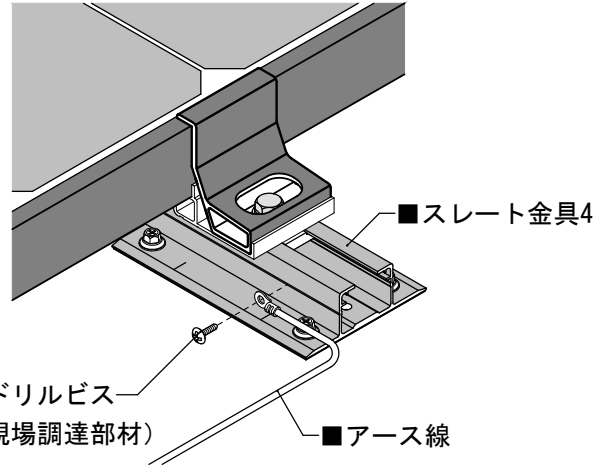


！ 注意

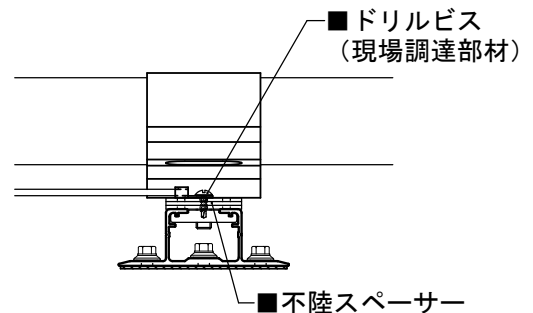
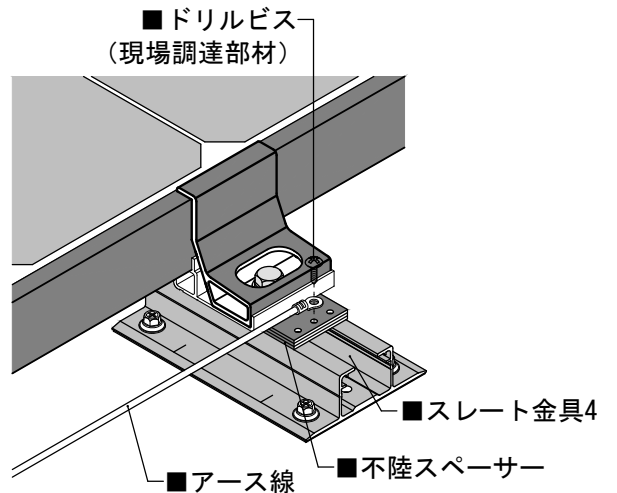
C種またはD種接地工事が必要です。
アースを取らないと感電の恐れがあります。
アース工事は有資格者が行ってください。

お願い

アース線が弛んで屋根材に触れないようにしてください。



不陸スペーサーを使用した場合



！ 注意

不陸スペーサーを使用した場合、スレート金具4は導通していないため、必ず不陸スペーサーからアースを取ってください。

8) 軒端面キャップの取付け

- ① 軒端面キャップの保護テープを剥がし、軒カバーSの端部に取付けます。

